

なかよし・けんこう・どいよく

# 天見小校長室だより 7月号

令和5年6月30日  
天見小学校

人の温かみを感じられる学校 みんなで笑顔と元気を作り出せる学校

6月19日（月）からプールでの授業が始まりました。子どもたちは嬉しそうに水泳バッグをもって学校に登校してきます。第一週目のプールは、梅雨の合間の天気にも恵まれ全学年が一回は入ることができ気持ちよさそうでした。天見の里もどんどん夏に向かっていきます。子どもたちの植えた野菜もどんどん大きく育っています。

6月は、いろんな行事ができました。プール掃除や土曜参観、オーストラリアとの交流授業、奈良への校外学習（6年生）や、浄水工場見学（4年生）、清掃工場見学（4年生）、等各学年の行事もたくさんあり、全体でも人権講話や国際理解の講話など子どもたちは充実した日々を送れたように思います。今回は、子どもたちの様子をお知らせします。

## プール掃除

4・5・6年生が、それはそれは一生懸命にプールを掃除してくれました。落ち葉がたくさん沈んでいた濁ったプールの底や壁についている汚れや床を6年生が一生懸命に磨き、プールサイドは5年生が、更衣室やトイレは4年生が、ピカピカに使える状態にしてくれました。



嬉しかったのは帰りの時間でした。1～3年生が、4・5・6年生のお兄さんやお姉さんに、「プールきれいに磨いてくれてありがとう。」大きな「ありがとう。」の声がこちらから聞こえてきます。一生懸命に掃除してくれた子たちにとってこれほどうれしい「ありがとう」はないと思います。頑張ったよかったという気持ちが倍増しました。みんなの役に立てた喜びを感じてくれたらいいなと思います。

## 百聞は一見に如かず



4年生が社会見学で浄水場と清掃工場に行ってきました。みなさん、浄水場に行かれたことありますか。もしかしたら、「4年生の時にきました。」という答えが返ってくるかもしれませんね。私はこの仕事について、初めて浄水場や清掃工場に見学に行きました。聞いて知ると、見て知るとは全然理解度が違います。例えば、ダムから引かれている水で金魚が飼育されています。それは観賞用でもなんでもなくて、ダムに毒が入っているかを一目で調べるためのものであることや、浄水されていく仕組みがどのようになっているかが一目でわかるところがすごいなと思いました。子どもたちも、たくさんの感動を感じてくれているといいなと思いました。

清掃工場でも、ごみが焼却されるまでの仕組みが良くわかりました。一日のごみの量を

清掃工場でも、ごみが焼却されるまでの仕組みが良くわかりました。一日のごみの量を

目の当たりに見ることができ、それを燃やす仕組みや、私が行った時には温度が下がると年間どのくらいの石油が必要かについても教えてくださいました。その話を聞くと、「濡れたものを一緒にごみに入れないようにしましょう。」等考えが少し変わったのを覚えています。

昨年度まで浄水場にはコロナの関係で見学ができなかったのですが、今年度から再開になって子どもたちは、いい勉強ができたと思います。体験・経験することが一番の学習に繋がりますね。

## 奈良の大仏&外国から来た人にインタビュー



6年生が奈良の大仏を見学に行きました。奈良の市役所の屋上に上がると、東大寺と西大寺方面と両方がいっぺんに見えます。奥田先生が「東は日が昇るところ、その向こうには伊勢神宮がある、西は日が沈むところ、その向こう（つまり大阪ですが）古墳がある。」と説明されていました。なるほどの説明。子どもたちも頷いて聞いていました。東大寺に行く前に、「外国人にインタビュー」を春日野園地で開催しました。

道すがら、何度も何度も英語で質問できるように練習している子どもたちの真面目さに感動しました。学校でインタビューを受けた時とは雲泥の差で上手になっていてびっくり。

そして、いざ、初めて見ると・・・はじめ、恥ずかしくて、鹿に向かって、「May I ask you some question?」と言っていた子どもたちも、自然に3人ぐらいの班に分かれて、外国から来た人に話しかけに行くことができました。鶴や風船や兜等折り紙をたくさん準備し、応えてくれた人たちにプレゼントして喜んでもらい、一度応えてもらえると、そこからは度胸が付き、最後には、「全員ひとりでチャレンジ」として、一人で話しかけていくことができました。なかなか今年の6年生はコミュニケーションの力があると、また感動していました。

鹿に狙われながら、おいしいお弁当をいただき、鹿せんべいを鹿にあげるものの、怖くて手からあげられない子もいたり、反対に鹿使いのように鹿をならしてしまう子もいたり・・・大仏殿、正倉院を見学し、大阪に戻ってきました。自信が付き歴史を感じる楽しい一日になりました。



## オーストラリア交流

2年生と6年生が、オーストラリアで日本語を習っている子どもたちと交流をしました。2年生は、自分の自己紹介を「My name is ○○。I like ○○」上手に話していました。オーストラリアの子どもたちとじゃんけんをし、どちらが勝ったかで、盛り上がっていました。6年生は、奈良で外国の方にインタビューする英語の練習をした後、同じようにじゃんけんゲームをしました。相手が2年生であったので、年下の子に勝たせて喜ばせてあげようという雰囲気あり、年齢の違いによる楽しみ方があって、隣で見ていてその雰囲気がとてもよく、楽しかったです。

